

山の手東グループ・西グループは、平成21年11月9日に合同のI.M.を青山ダイヤモンドホールにて500名の会員を集め“奉仕の輪を広げよう”をテーマに開催致しました。

山の手グループの皆さま以外はこのI.M.についてはご存じないと思いますので、このI.M.の内容、I.M.の意義などお話ししたいと思います。

毎年I.M.に参加して感じる事は最初の会議にはお義理で出ますが、時間が経つと段々参加者が減り夜の懇親会では疎らな感じで主催者が苦戦する状態が近年続いていました。その為かどうかわかりませんがI.M.を開催しないグループが増え今年も、千代田、銀座日本橋、京浜、多摩東グループが開催を見送りました。その理由は各グループの事情や財政的な面やミニ地区大会の様なもの不要であるとのご意見等各種さまざまです。

山の手グループは未曾有の不況の中、我々職業人あるロータリアンも仕事面、クラブの財政面等で運営に苦労されています。そこで本年度はクラブに財政的負担をかけなく又逆にファンドレイジングをして資金を集め奉仕活動や地区から要請される費用を捻出したいと考え、東西合わせる事でスケールメリットを出し合理的に開催を行いました。

政治評論家の三宅久氏を招きしかも例年人が減る懇親会のまえに講演を依頼してその後懇親会に入る等減客が無いよう工夫をこらしました。

各クラブの活動の内容は“友愛の広場”にてその活動が判るブースを設けお互いのクラブがどんな奉仕活動をしているか、又共催出来ないか等活発な意見交換が行われました。

懇親会も270名の方が集まりマンドリンクラブの音楽を聴きながら、オークションで費用を捻出してクラブへの支援金や久邇ガバナーが唱えてられる水の基本になる植樹の基金を捻出しました。

今回のI.M.で山の手グループ全体が団結して奉仕や親睦を広める事ができ、仲間意識が強まり今後ロータリー活動に有意義になると会員一同感じI.M.を開催した意義があったと思います。

